

【様式】

令和元年度 学校マネジメントシート

学校名 ( いなべ総合学園高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	<p>自主自律のもと「生徒一人一人の能力の伸長」と「教職員の達成感」を常に追い求め、地域の人々に信頼される学校を目指します。</p>
(2)	<p>育みたい 児童生徒像</p> <p>○自己管理ができ、進路実現に向け主体的に学習や部活等、教育活動に取り組んでいます。 ○人間関係力やコミュニケーション能力があり、チームとして活動ができます。 ○地域社会に興味・関心を持ち、主体的に社会貢献に取り組んでいます。</p>
	<p>ありたい 教職員像</p> <p>○言葉だけでなく、自らの姿（行動）からも教育育てます「率先垂範」。 ○仕事にやりがいを感じ、生徒の成長を自らの喜びとします。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉 進路実現に向け、充実した高校生活。 〈保護者〉 安全・安心で師弟同行が感じられる充実した学習環境。 〈地域〉 学校の専門知識や施設の提供による地域の活性化。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>〈家庭〉 連携・協力するにあたって、学校の現状や課題の共有。 〈中学校〉 高校生活や進路状況等、情報の提供。 〈地域〉 地域の活性化のための若い力の提供。</p>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p>〈家庭〉 本校教育方針への理解と協力、共に育てるための信頼と連携。 〈中学校〉 効果的な指導をするための生徒の情報共有。 〈地域〉 本校教育活動への理解、共に育てるための信頼と連携。</p>
	(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>・進学、就職とも良い結果が出ている。卒業後、地域に貢献できる人材育成に努めてほしい。</p> <p>・情報通信機器の発達に伴い、生徒間のトラブルや悩みが見えにくい世の中になっている。生徒とのコミュニケーションを大切にし、生徒に寄り添う教育の実践をしてほしい。</p> <p>・教職員の総勤務時間を縮減し、教職員が意欲的に教育活動に取り組める環境づくりを進めてほしい。</p>

(4) 現状と課題	教育活動	<p>○学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上を図るため、学習習慣の確立や学習意欲の向上に向けた取組が必要です。年次と教科が連携し家庭学習時間の増加に向けての取組が進められていますが、生徒個人個人の差が大きいのが現状です。今後も尚一層、生徒の興味・関心を引き出す魅力ある授業づくりに取り組みます。</li> </ul> <p>○進路指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と年次の連携のもと進学・就職ともに良い結果が出ています。これは特に、キャリア教育の取組や課外授業の成果によるものであり、今後も更なる充実を図ります。</li> </ul> <p>○生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた教育環境の中、生徒は主体的に学習活動に取り組んでいます。今後も生徒会等と連携し、規範意識の向上や命を大切に生きていく力の育成に積極的に努めます。</li> </ul> <p>○保健管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気で活発に高校生活を送ることが大切です。心身の健康に関する知識や関心を高めるため、引き続き健康教育及び環境教育の充実に取り組みます。</li> </ul>
	学校運営等	<p>○開かれた学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の最新情報をホームページや説明会等により積極的に情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を引き続き行います。</li> </ul> <p>○学校経営改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼される学校を目指して、行動計画を策定し積極的に実践します。また、教育課題については職員全員と共有し、課題解決に向けた現職教育（校内研修）の実施等、資質能力の向上に努めます。</li> <li>・教員が心にゆとりを持つことにより、充実した教育活動が実践できるよう、総勤務時間の縮減に向けて会議時間の縮減等、更に具体的にに取り組んでいきます。</li> </ul>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の確立や学習意欲の向上に向け、引き続き、生徒の興味・関心を引き出す魅力ある授業づくりに積極的に取り組んでいきます。</li> <li>・進路保障の充実に向け、キャリア教育や課外授業等において、成果を見据えた取組をしていきます。</li> <li>・基本的な生活習慣や規範意識（美化意識）の確立など社会性の育成に向け、生徒会を中心に保護者や地域と連携し、生徒自身が自発的に意識を高めていく雰囲気づくりに取り組んでいきます。</li> <li>・命を大切に、生き抜く力の育成に向け、人権教育や危機管理教育等、意識の向上に繋がる取組を積極的に行います。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の最新情報等をホームページなど様々な角度から情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を積極的に行います。</li> <li>・信頼される学校を目指して、行動計画を策定（更新）し積極的に実践します。また、教育課題については職員全員と共有し、その課題解決に向けた現職教育（校内研修）の充実など積極的に取り組んでいきます。</li> </ul>

・総勤務時間の縮減に向け、会議時間の縮減など、具体的に取り組んでいきます。

#### 4 本年度の行動計画と評価

##### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】 取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】 取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの学力の伸長を図ります。上位層・下位層の引き上げを重点的に行う方法を研究します。</li> <li>・授業の創意工夫と改善に努め、きめ細かい授業展開を推進します。家庭学習の強化など教職員間の情報共有を図り、生徒のよりよい進路希望実現に向けて授業改善に努めます。</li> <li>・「産業社会と人間」や「IVYタイム(総合的学習時間)」におけるキャリア教育を通して進路希望の実現を図ります。</li> <li>・就職・専門学校希望者に対して「サクセス」の取り組みの徹底を図り、学力の向上を目指します。公務員志望者には対策問題集の学習で試験合格を図ります。</li> <li>・いなべ特進塾と夏季課外の充実を図り、大学の一般入試に対応できる学力をつけさせます。また、冬季特編授業時の課外へとつなげていきます。</li> <li>・予習・授業・復習のサイクルで学習習慣の確立に努めます。提出物の徹底と期限を守れるよう指導します。</li> <li>・生徒の進路決定の実現に向けて、定期的な面談を通じて、きめ細かな指導を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの学力の伸長を十分図れました。</li> <li>・学校生活調査の結果から授業改善や家庭学習の定着について検討しました。</li> <li>・外部の方の講演や説明会等を充実させました。</li> <li>・サクセスを範囲とする実力テストを実施し、公務員試験対策を充実させました。</li> <li>・授業内容と課外を連携させ、冬期課外の内容を高めました。</li> <li>・学習習慣の確立させる指導を充実させました。</li> <li>・進路希望を踏まえた科目選択を実施しました。</li> </ul>	◎
○進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンスや保護者説明会、三者懇談会を通して、生徒・保護者との相互理解を図り、生徒の進路実現に向けた協力体制を構築します。</li> <li>・IVYタイムの授業を効果的に活用し、進路意識を高め、かつ、地域に貢献できる人材育成に取り組めます。</li> <li>・国公立大学複数名合格、昨年度と同じく早い時期での就職内定100%を目指します。</li> <li>・生徒の進路実現のために定期的に個人面談を実施し、生徒の現状把握に努めるとともに、早期進路決定が出来るように指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者説明会は年々参加者が増加しています。</li> <li>・国公立大学合格者はいませんでしたが、大学合格者数はかなり回復増加しました。</li> <li>・学校斡旋の就職者は早い時期に全員確定しました。</li> <li>・本年度も IVY の研究内容</li> </ul>	◎

<p>○生徒指導</p>	<p>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業社会と人間」や「IVYタイム(総合的学習時間)」の授業を活用し、生徒の進路意識を高め、生徒の進路実現につながる科目選択・登録ができるように指導します。</li> <li>・進路指導部と各年次の連携を図りながら、計画的な進路指導を行います。</li> <li>・命を大切にする教育に努め、他人を思いやる心を育みます。相互に声を掛け合い一人にさせないことや、日頃からの交通安全指導を通じて命を大切にすることを呼び掛けていきます。</li> <li>・いじめは絶対に許さない姿勢を貫き、未然防止に努めます。対策として、アンケート、ネットモラル教室の実施、県教育委員会や警察との連携を行います。また、定期的に面談等を行い、未然防止、早期発見に努めます。</li> <li>・生徒、教員、保護者、地域住民の四者が良好な関係を築き、情報共有、連携を密にします。そのことから問題の早期発見、迅速な対応に努めます。</li> <li>・教員間での情報共有、連携を密にし、生徒会、各年次、人権教育推進委員会、特別支援教育推進委員会、教育相談係との連携・協力体制を強化します。</li> <li>・基本的な生活習慣の確立に努め、「自主自律」の意識を高めるよう指導します。「時を守り(時間・期日厳守)、場を清め(整理整頓・美化活動)、礼を正す(礼儀礼節・他者尊重)」の3原則を常に意識して行動できるよう指導します。</li> <li>・ルール、マナーについて周知し、自ら考えさせることで規範意識を向上させ、安全・安心な学校環境づくりや地域社会との共生を目指します。</li> <li>・ロッカーの施錠、自転車の二重ロックなど貴重品を含む持ち物の管理を指導します。</li> <li>・生徒会の自発的な活動を促し、代議員会や各種委員会と協力しながら、特別活動の充実を図ります。</li> </ul> <p>【活動指標】 生徒会役員と代議員で自由に意見を出し合う会議を年2回実施  【成果指標】 各学校行事の満足度アンケート、満足と答える生徒 80%</p>	<p>を発表しての大学合格者を 出せました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全指導や主権者教育を通じて、命を大切にする教育を行いました。</li> <li>・ネットモラル講演会等を通じて、目に見えない「いじめ」を未然防止できるよう啓発活動に努めました。</li> <li>・積極的に情報共有を行い、連携を密にとることができました。</li> <li>・集会等での5分前集合は十分できていました。挨拶の励行も継続していきます。</li> <li>・時間厳守、整理整頓等の指導を通じて、全校生徒の基本的な生活習慣が確立できるよう努力しました。</li> <li>・ルール遵守を通じて、規範意識の向上に努めました。</li> <li>・様々な協力をいただきながら運営に尽力しました。機関誌の編集では、生徒会役員が主体的に取り組むことができました。また、各種委員会を年10回開催しました。</li> </ul>	<p>◎</p> <p>◎</p>
<p>○保健管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健環境委員会活動を通じて、心身の健康に関する知識、関心を高めます。また、環境美化の活性化を図ります。</li> <li>・定期的に保健通信を発行し、健康を守るための知識を指導します。</li> <li>・生徒がいつも安心して来室でき、心身ともに休むことのできる保健室を目指します。</li> <li>・心に悩みのある生徒を教育相談につなぎ、広くカウンセリング室の利用を図ります。</li> <li>・保健環境部が中心となり、各年次、生徒指導部等と連携を図り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健環境委員が文化祭において、性をテーマに発表しました。</li> <li>・毎月1回、保健環境部年間計画の指導内容に沿ったテーマで発行しました。</li> <li>・養護教諭2名が、親身に対応しています。</li> <li>・4～12月のカウンセラー相</li> </ul>	<p>◎</p>

	<p>ながら、心に悩みのある生徒の支援に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年やチューターと協力して、ゴミの分別への啓発活動を行い、その習慣を身につけるよう指導します。</li> <li>・日常の積極的な清掃活動の推進を図り、校内美化に取り組みます。</li> </ul>	<p>談件数は、生徒12件・保護者6件・教職員7件で、ケース会議は10回行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回の大掃除と学年ごとに年1回の校外清掃を実施しました。日常の全員清掃も積極的に行い、ゴミも概ね分別できました。</li> </ul>
--	---	---

### 改善課題

今年度の教育活動は概ね目標どおりに行動できました。多数の生徒が自己管理をしっかりと行い、様々な学校活動に取り組んでいます。しかし、現状に満足するだけでなく、教職員が一体となって生徒の心に寄り添い、全校生徒一人一人と関わって、悩みのある生徒の数を一人でも多く減らし、全員が進路実現に向かって努力できるような学校づくりに努めます。

## (2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にしま

す。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にしま

す。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域に向けて、ホームページや広報冊子などで積極的な情報発信に努めます。</li> <li>・きずなネットを活用して、保護者に学校行事予定の定期的発信や緊急連絡の発信に努めます。</li> <li>・台風や大雪などの緊急連絡について、できるだけ早い段階で判断し、通知するよう努めます。</li> <li>・学校説明会(10月12日)の内容を充実させ、中学生及び保護者に向けて本校の魅力発信に努めます。</li> <li>・学年通信を定期的に発行し、学校の様子を保護者に伝えます。</li> <li>・三者懇談会で、保護者に丁寧に分かりやすく学校の様子を伝えます。</li> <li>・進路別保護者会などにおいて、保護者のニーズに合った情報を分かりやすく提供します。生徒、教員、保護者の三者が一体となれるよう、連携の強化に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページは月1回の更新、広報誌は学校案内(中学生向)、IVY通信(年2回)、PTA広報誌「つたわかば」(年2回)を発行、情報発信に努めました。</li> <li>・きずなネットは行事予定を月1回の定期的な配信、また休校などの緊急連絡などを配信しました。</li> <li>・台風で中止になった学校説明会ですが、中学生及び保護者の強い要望で11月16日に規模を少し縮小し、実施しました。(中学生約500人、保護者約200人参加)</li> </ul>	◎
○学校経営改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な危機に対応できる体制の強化に努め、安全・安心な学校づくりに努めます。</li> <li>・コンプライアンス・ミーティングを年1回以上実施します。不祥事を根絶し、教職員が学校に関わる全ての人々により一層信頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に予定していた防災訓練は、雨のため防災講話として実施しました。</li> </ul>	◎ ◎

	<p>を得るため、言動に注意し、職務に励み、説明責任が果たせるように努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総勤務時間の縮減に向け、会議時間の縮減など、具体的に取組んでいきます。</li> <li>①定時退校日を月に1日</li> <li>②部活動休養日を週に1日</li> <li>③放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合を80%</li> <li>④時間外労働時間 3時間/月削減(1人あたり)</li> <li>⑤休暇取得日数 2日/年増加(1人あたり)</li> <li>⑥月80時間を超える時間外労働者を延べ人数 15人削減</li> <li>・教育課題等について全教職員と共有し、その課題解決に向け、現職教育(校内研修)の充実など積極的に取り組んでいきます。</li> </ul> <p>【活動指標】 人権教育と特別支援教育又は教育相談関連の現職教育を年2回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が一体となるようコミュニケーションを大切にし、学校行事が速やかに、円滑に運営できるよう努めます。</li> <li>・校内ネットワークの管理に努め、統一システムを運用します。</li> <li>・現状にあっていない内規の改訂、分掌内での引継ぎ資料の作成を適切に行います。</li> <li>・各部屋、各倉庫の備品消耗品の管理の徹底を行います。</li> </ul> <p>【活動指標】 年度末に各倉庫の消耗品等の個数チェックを1回実行</p> <p>【成果指標】 備品消耗品の紛失をゼロ</p>	<p>その他通報訓練や防災組織の確認等も行いました。</p> <p>◎</p> <p>・(4月～1月)</p> <p>①毎月設定できました。定時退校日に定時退校できた教職員の割合は、93.1%でした。(＋3.8%)</p> <p>②28の部活動があり、公式大会等の時期に休養日を設定できないこともありました。達成率は、95.5%でした。(－0.3%)</p> <p>③割合は78.8%でした。(＋6.7%)</p> <p>④昨年度と比べて、－3.7時間/月でした。</p> <p>⑤昨年度と比べて、＋0.7日/年でした。</p> <p>⑥昨年度と比べて、延べ－19人でした。</p> <p>・各種会議等を通じて十分連携が取れました。</p> <p>・年度末に点検を行いました。</p>
--	---	--

### 改善課題

保護者や地域の方々に向けて様々な情報を発信し、説明会等を行うことによって、開かれた学校づくりを進めることができました。学校経営改革では、総勤務時間の縮減に関する取組で目標値に達することができませんでしたが、一定の成果を得ることができました。今後も教職員が、より一層意欲的に教育活動に取り組み、数値的にも向上できるように努めます。

## 5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうすれば生徒が勉強するようになるかと考える先生がいて欲しい。</li> <li>・人権教育を通じて、言葉の重みを考えさせて欲しい。</li> <li>・総合学科のよさが中学校に知れ渡るようにして欲しい。</li> </ul>
----------------------------	---

## 6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時の家庭学習時間を増やせるよう、生徒の興味関心を引き出す魅力ある授業づくりにさらに積極的に取り組んでいきます。</li> <li>・生徒の進路実現に向け、キャリア教育や課外授業等、引き続き積極的に取組んでいきます。</li> <li>・生徒の規範意識や社会性の育成を図りつつ、対話による教育相談の充実のため生徒に寄り添う教育の実践を行います。</li> <li>・命を大切に、生きぬく力の育成に向け、人権教育や危機管理教育等、意識の向上に</li> </ul>
---------------------	--

	繋がる取組を積極的に行います。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校の最新情報をホームページや説明会等により積極的に情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を引き続き行います。</li><li>・教育課題について職員全員と共有し、課題解決に向けた現職教育（校内研修）を実施するなど資質能力向上に努めます。</li><li>・総勤務時間の縮減に向け、会議時間の縮減等、さらに具体的に取り組んでいきます。</li></ul>